

(6) 共同開発型支援事業の推薦

事業の概要

民間団体の科学体験プログラムについて、公募方式では生まれにくい新たな展開の可能性を共同で開発していくため、わくプロセンターと民間団体が共同で開発し、マツダ財団から助成します。各民間団体の特性を生かした、ユニークな科学体験プログラムの開発をめざします。

事業のねらい

子どもが科学にわくわくするための科学体験プログラムには、新たな視点からの斬新なアイデアの活用が求められますが、一般的な公募方式により民間団体から事業を募集した場合には、どうしても成果の期待しやすい手堅い事業が評価されやすいいきらいがあり、冒険心にあふれた事業が生まれにくいことが想定されます。

このため、わくプロの事前議論の中で、わくプロセンターのメンバーと、特別な能力や可能性を有した民間団体とが議論を交わし、その民間団体の強みを生かした大胆な科学体験プログラムを共同で開発していくべきだとの意見が出ました。

このため、公募ではなく、わくプロセンターが選定した民間団体と連携して、子どもが科学にわくわくするための科学体験プログラムを共同開発しようとするものです。

事業の内容

わくプロセンターが、選定した科学体験プログラムをマツダ財団に推薦するとともに、その事業実施に当たってプログラムの共同開発を行う。

平成 17 年度共同開発型推薦事業（テーマと助成先）

小学生低学年を対象とした冬の自然観察体験活動

- ・吉備自然体験活動研究会

（代表者）国立吉備少年自然の家 所長 新宅 鉄衛

無線について学習し、国際宇宙ステーションISSと交信しよう

- ・広島市こども文化科学館アマチュア無線クラブ

（代表者）下居 修

明日から使える理科教材ワークショップ

- ・広島県物理教育研究推進会

（代表者）広島大学 名誉教授 西川 恭治

子育て支援施設「あーち」を拠点とした子供向け科学プロジェクトの企画・運営

- ・ヒューマン・コミュニティ創成研究センター「市民の科学」プロジェクト

（代表者）伊藤 真之

所要経費（マツダ財団が直接支援）

・吉備自然体験活動研究会	200,000円
・広島市こども文化科学館アマチュア無線クラブ	200,000円
・広島県物理教育研究推進会	300,000円
・ヒューマン・コミュニティ創成研究センター「市民の科学」プロジェクト	200,000円
支 援 総 額	900,000円